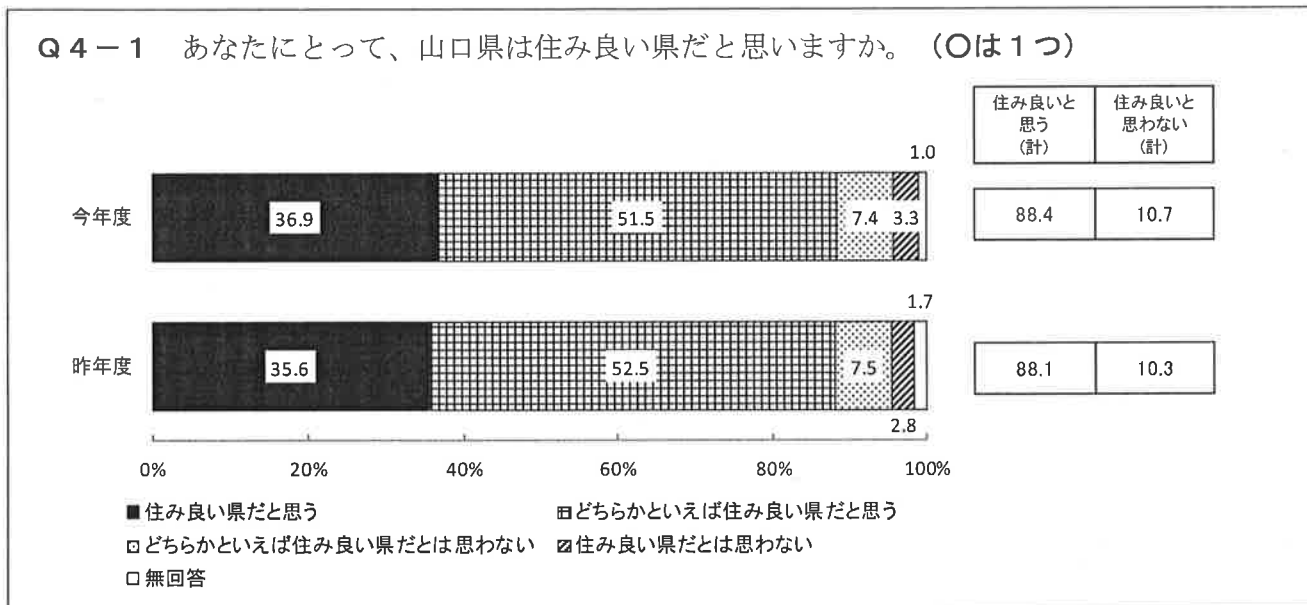


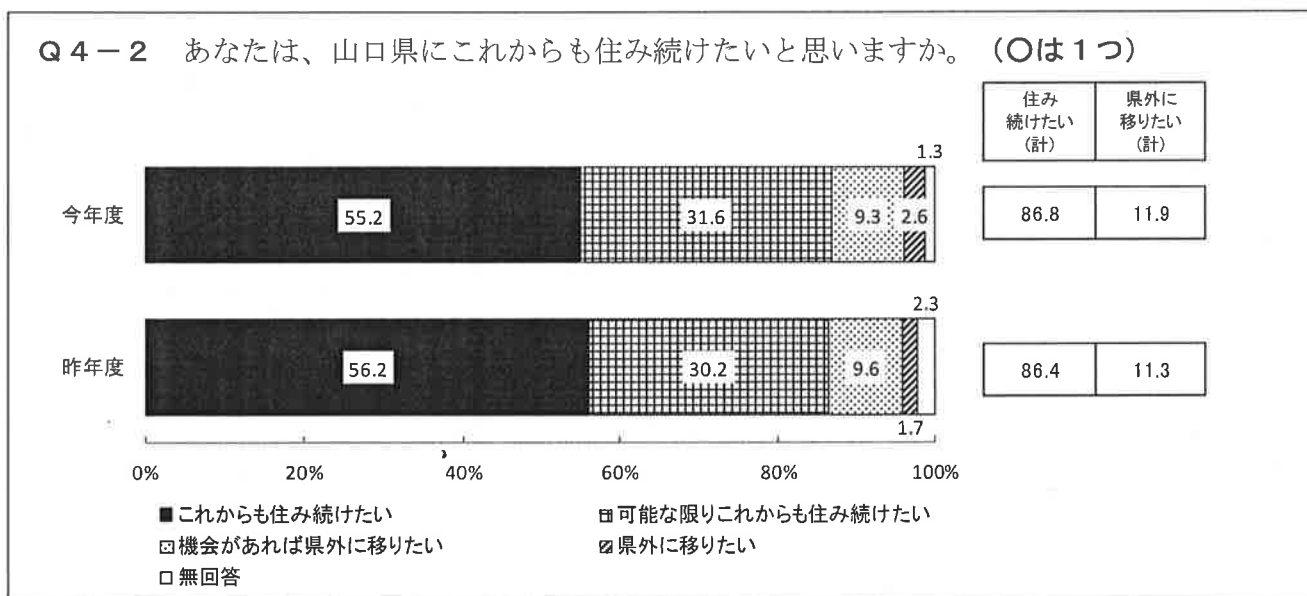
4. 県の取組に対する実感

4-1. 山口県の住み良さ



山口県の住み良さについて、「住み良い県だと思う」と「どちらかといえば住み良い県だと思う」を合わせた『住み良いと思う (計)』は88.4%となっており、昨年度と比較すると、0.3ポイント上昇し、引き続き約9割の高水準にある。

4-2. 今後の山口県への居住意向

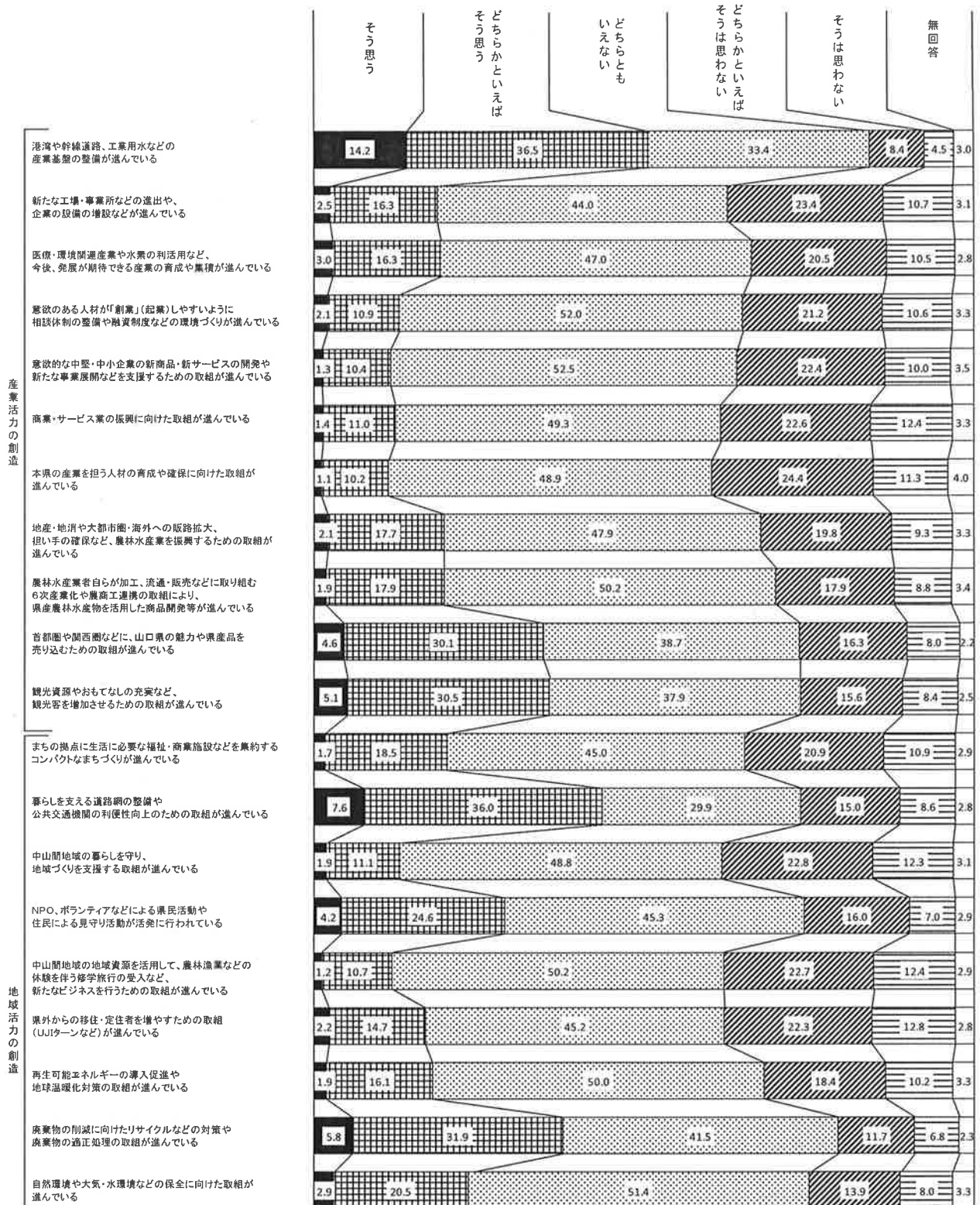


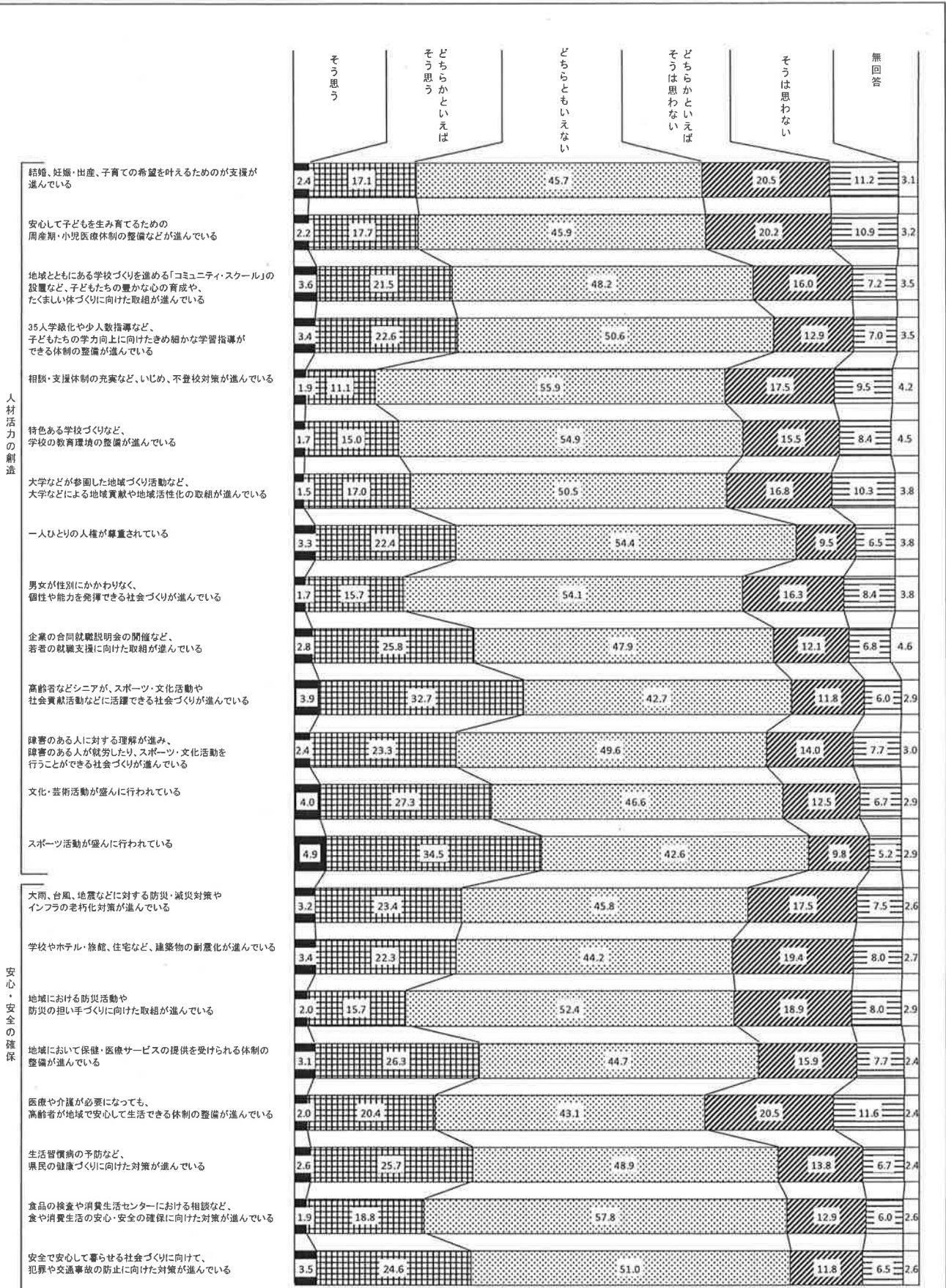
今後の山口県への居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい (計)』は86.8%となっており、昨年度と比較すると0.4ポイント上昇し、引き続き約9割の高水準にある。

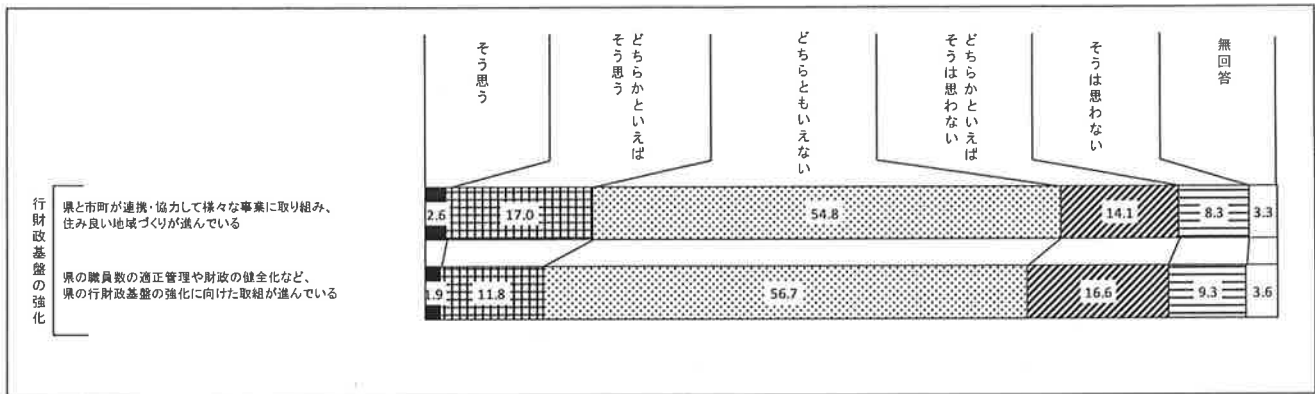
4-3. 県の取組に対する実感

Q4-3 チャレンジプランに基づいて取り組んでいる次の各項目におけるあなたの実感についておたずねします。いずれか1つを○で囲んでください。

(○はそれぞれ1つずつ)







県取組に対する実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う(計)』の割合は、【産業活力の創造】分野の「港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる」(50.7%)、【地域活力の創造】分野の「暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上のための取組が進んでいる」(43.6%)、【人材活力の創造】分野の「スポーツ活動が盛んに行われている」(39.4%)などで高くなっている。

一方、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない(計)』の割合は、【産業活力の創造】分野の「本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる」(35.7%)、【地域活力の創造】分野の「中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる」(35.1%)などで高くなっている。